

仙台市スポーツ推進計画（改訂版）中間案に関する市民意見の内容と本市の考え方

NO	項目	意見	本市の考え方
1	身近で利用しやすいスポーツ環境の整備	統廃合した小学校の空き校舎をスポーツ少年団等の団体の合宿所として使用させてほしい。	今後の施策推進にあたり参考にさせていただきます。
2	身近で利用しやすいスポーツ環境の整備	仙台市には武道館が青葉体育館にしかないため、武道館は武道を優先して使用させてもらいたい	武道館の利用にあたっては、武道を目的とした使用に配慮した予約方法としているところです。
3	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	働く世代のスポーツ実施率が減少しているのは、やはり職場の環境が悪いと思う。	スポーツ施設での働く世代向けのプログラムの充実や、利用しやすい時間帯の設定など働く世代のスポーツ活動の促進に努めてまいります。
4	将来性を有するジュニアアスリートの支援	野球の人気向上や野球の競技力向上のため、小学校1年から3年生を対象とした大会を開催し、キッズ大会の充実・強化を図りたい。	本市といたしましても、将来のトップアスリート育成に向け、高いレベルの指導の実施や、子供たちのスポーツ志向の醸成を図ってまいります。
5	将来性を有するジュニアアスリートの支援	小学校の放課後の校庭を活用し、幼児から小学校低学年向けのプロジェクトを実施したい。	本市といたしましても、将来のトップアスリート育成に向け、高いレベルの指導の実施や、子供たちのスポーツ志向の醸成を図ってまいります。
6	将来性を有するジュニアアスリートの支援	プロスポーツチーム等が有する選手やコーチ、チアなどが学校を訪問、指導を行う機会を増やしたい。	本市といたしましても、将来のトップアスリート育成に向け、高いレベルの指導の実施や、子供たちのスポーツ志向の醸成を図ってまいります。
7	子どもの健やかな体の育成に向けた取り組み	プロスポーツチームとの連携を強化し事業を推進するため、下記の文言の追加を検討してほしい。 「子どもの体力や運動能力の現状を把握し、プロスポーツチーム等とも協力しながら、スポーツ施設等で行う子ども向けのプログラムを充実させるとともに…」	いただいたご意見を踏まえ、文言の修正について検討いたします。
8	学校における部活動支援	中学校の野球部員は、この15年で約10万人も減少したとも言われ、野球の競技人口減少が問題である。中学校の部活動支援の一環として、学校体育指導者講習を実施する。	本市といたしましても、スポーツ指導者に対する講習会などを実施し、指導者の育成を図ってまいります。

NO	項目	意見	本市の考え方
9	身近なスポーツ活動の場の設定・検討	大規模な施設よりも、身近なスポーツ施設の整備を進めてほしい。 震災により被災した学校について、まだ復旧工事が進んでいないところもある。利用希望が多く、整備に費用がかさむ大規模施設よりも、学校施設のような地域の住民が身近にスポーツで利用できる施設を充実させてほしい。	スポーツ施設の整備については、老朽化している既存施設の長寿命化に向け計画的な修繕を図るとともに、関係部署とも連携を図り、市民の皆様に身近にご利用いただける環境の整備に努めてまいります。
10	身近なスポーツ活動の場の設定・検討	地域連携の活動として楽天野球団の他、地域企業との連携を図り推進することが必要。 子ども向けの施設を建設、市への寄贈などを通じて、未就学児童を中心に外遊びできる環境を整備したい。	地域企業との連携など民間活力の導入による整備のあり方について研究してまいります。
11	スポーツボランティアの育成	仙台市の職員は、地域のボランティア参加に後ろ向きである。 市長から、地域に入り込めと檄を飛ばしてもらいたい。	市民協働に関する研修などを通じて、ボランティア活動を含む地域の活動に対する職員の理解を深め、人材の育成に取り組んでまいります。
12	スポーツ活動の顕彰	スポーツ活動に対して確かに慰労の表彰はされているが、組織内だけの披露に終わっている。 一般の市民の方々目に触れる何らかの方法を考えていただきたい。	各スポーツ団体において表彰された方をはじめ、スポーツを通じて功績を収めた方々を広く市民に知っていただくための方法を検討してまいります。
13	地域・世代を超えた交流の促進	ドイツのように、様々な世代のクラブが場所を共有して活動するような「クラブ多世代型」に向けた取り組みの予定はないのか。施設の絶対数が不足している中で、そういった取り組みも必要でないか。	スポーツを通じた世代間の交流を促進する取り組みの中で、各団体のご協力をいただきながら、そのような活動が広がるよう働きかけてまいります。
14	地域スポーツ団体の組織力向上に向けた支援	地域スポーツ団体の支援をしますが、地域と関わり合いのない市民に、学区民体育振興会等、地域のスポーツ団体は認知されていないと思う。 組織の課題は、構成員が増えない、若年化ができないことであるが、仙台市の広報手段の消極さが大きな要因であると思う。	本市のホームページや市政だよりなどを通じて、各団体の活動や取り組みを広報してまいります。

NO	項目	意見	本市の考え方
15	全体	この計画の実施主体は誰なのか。 また、この計画における予算規模が示されていないため、仮に意見を出したとしても実現されるのか、実現性、具体性に疑問がある。	本計画は、スポーツを推進するための指針となるものであり、計画にもとづき事業実施に必要な費用を予算化していくものです。計画に掲げる基本目標が実現できるよう取り組んでまいります。
16	全体	スタジアム等スポーツ施設内での飲食ブースを充実させることは、スポーツイベントの実施において非常に重要であるため、仮設テントにおける飲食売店での調理行為・ガスの使用制限の撤廃を強く願う。	仮設テントでの調理行為及びガスの使用にかかる制限については、関係法令等の基準に基づき設けているものであり、イベント参加者の安全性の確保と適正な施設管理のために必要なものと考えております。
17	全体	学習指導要領案において、「する」「みる」「ささえる」に加え、「知る」が入る予定である。その新しい流れを考慮する必要があるか検討いただきたい。	今後の施策推進にあたり参考にさせていただきます。